

白馬セミナー 2016

基調講演・分科会 抄録 (分科会順・敬称略)

【基調講演 1】

- 「教育について神はどう考えておられるのか」
Education: Does God Have An Opinion?
イスラエル・ウェイン

教育とは中立のテーマなののでしょうか？神は、子どもたちがどのように教育されることを好んでおられるのでしょうか？聖書は学校教育について何と言っていますか？教育の唯一正しい方法というものがあるのでしょうか？クリスチャンにとって公立学校は選択が可能なものなのでしょうか？この興味をそそるプレゼンテーションにおいて、これらの疑問と更なる疑問について説明します。

Is Education a neutral subject? Does God have a preference for how He wants children to be educated? What does the Bible teach about schooling? Is there one correct path for education? Are public schools a viable option for Christians? These questions and more will be discussed in this engaging presentation.

【基調講演 2】

- 「親の権利に危機が忍び寄る」
Parents' Rights—A Crisis Is Coming
マイク・ドネリー

1923年、アメリカ合衆国最高裁判所は、子どもの教育を導き育てる基本的な権利はその親にあるとの判決を下しました。今なぜ世界各地で親の権利が突然、危険にさらされているのでしょうか？HSLDAの弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏が、ホームスクールの自由に対する次なる大きな攻撃と、それに対して皆さんができることは何かについて語ります。

In 1923, the United States Supreme Court ruled that parents have the fundamental right to direct the education and upbringing of their children. So why are parental rights suddenly endangered? Come hear HSLDA attorney and homeschooling father Michael Donnelly discuss the next biggest threat to homeschool freedom and what you can do about it.

【基調講演 3】

- 「聖書が教える『親の権利』」
The Biblical Basis for Parental Rights
イスラエル・ウェイン

子どもたちは誰のものですか？国は、あなたの子どもの教育に対して切実な関心を持っているのでしょうか？ホームスクーリングをする親としてのあなたの権利は何ですか？もし、民生委員が突然あなたの玄関先に来たら、あなたはどうか心得ていますか？ホームスクーリングを選択したとき、多くの親が投獄され、子どもたちは家から取り除かれるという現実直面した初期のホームスクール・ムーブメントから、自分の体験談と洞察を分かち合います。対立に立ち向かうために、どのように備えるかを学びます。

Who owns the children? Does the state have a compelling interest in your child's education? What are your rights as a homeschooling parent? Do you know what to do if a social worker shows up for an unexpected visit? Israel shares personal stories and insights from the early days of the homeschooling movement when many parents faced jail and the removal of their children from the home if they chose to home educate. Learn how to equip yourself to stand against opposition.

【基調講演 4】

- 「もし壊れたら直しなさい！」
—問題を隠さないで解決すること
If It's Broke, Fix it!
マイク・ドネリー

ホームスクーリングをしている家族は多くの困難に直面しています。経済的、感情的、そして肉体的な要求が、私たちの人間関係、家族関係に多くのしかかってきています。ホームスクーリングのコミュニティーは、結婚生活の破綻や崩れていく子どもたちといった私たちの社会が直面している問題の影響を受けないわけではありません。しかし、壊れてしまった関係を修復するのに遅すぎることは決してありません。これらの複雑で重大

な問題を「修復する」ために必要な本質的な要因に向き合うより、その痛みを隠す方が簡単かもしれませんが。HSLDAの弁護士であり、7人の子どもたちをホームスクーリング中の父親であるマイク・ドネリー氏は、崩壊した家庭の中で育った体験から、生活のプレッシャーやストレスの真ただ中においても、ホームスクーリング家族が一体となつてつながり続けるために助けとなる必須材料を探索します。

Homeschooling families face many challenges. Financial, emotional, and physical demands put significant strain on our relationships and our families. The homeschooling community is not immune to the problems facing our society, including broken marriages and broken children. But, it's never too late to try to fix something that's broken. It may be easier to try to hide the pain than to confront essential elements required for "fixing" these complex and serious issues. HSLDA Staff Attorney and homeschooling father of seven Michael Donnelly was raised in a broken home and will explore the necessary ingredients to helping homeschooling families stay connected and whole amidst the pressures and stresses of life.

【基調講演 5】

■ OB/OG パネルディスカッション

「もしも、もう一度ホームスクーリングするなら、やるべきだったこと&よかったので必ずキープしたいこと-全国バージョン！」

稲葉 寛夫

9月、同窓会準備会（東京）に集まった11名のOB/OGによるパネルディスカッションを開催。「わくわく合宿」に参加した約100名の保護者&後輩&サポーターたちが「励まされた！」と大好評だったディスカッションの全国版です。「ホームスクーリング、感謝！周囲から評価高い」「でも悩む事あり」ほか、正直で熱いトークと神さまにあって育った「実」のありのままの姿に、励まされる新しいセッションです。

【分科会 1】

1-1 ■ 「地の塩、世の光の家族となるために」

Being Salt & Light Families

イスラエル・ウェイン

ホームスクーラーとして私たちがよく疑われることは、私たちが社会に影響を与える代わりに、社会から退いているのではないかということです。子どもたちを保護することと、私たちの周りにある墮落した世界に接触することの間にあるバランスとは何でしょうか？このセッションでは、家族によるミニストリーを展開させることで、子どもたちを「実社会」に備えさせる方法を説明します。

As homeschoolers, we are often accused of retreating from society instead of impacting it. What is the balance between sheltering our children and reaching out to a lost world around us? In this session, Israel explains how you can equip your children for the 'real world' by developing a family ministry.

1-2 ■ 「ヒトラー主義の遺産？ドイツ政府・世界各国のホームスクーリングへの扱い」 A Hitlerian Legacy? Germany's Treatment of Homeschooling マイク・ドネリー

ドイツのホームスクーラーたちは、罰金や投獄、それよりもっとひどい処罰をされると脅かされています。もしホームスクーリングが基本的人権であるなら、なぜ文明国がホームスクーラーたちをこのように脅かすのでしょうか？この国と似たような社会とは何で、なぜ、ドイツの裁判官や政治家たちはホームスクーラーたちを恐れるのでしょうか？ドイツのホームスクーラーたちの体験は、アメリカや世界各国のホームスクーラーたちにとって暗黒時代の瀬戸際なののでしょうか？この悪質なドイツの思想は、大西洋を横切ってアメリカ、そして日本までやってきて、アメリカのホームスクーリング初期に体験した困難さを再び強いることになるのでしょうか？ドイツにいるホームスクーラーの兄弟姉妹にとって好ましい変化をもたらすサポートとしてHSLDAは何をしているのでしょうか？そして、皆さんにできることは何でしょうか？HSLDAで国際部門の担当弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏が、これらの重要な疑問に答えます。

German homeschoolers are threatened with fines, jail and worse. If homeschooling is a human right, why does a civilized nation treat homeschoolers like this? What are parallel societies and why are German judges and policy makers so afraid of them? Is the German homeschool experience the edge of

night for America? Could this pernicious German philosophy make its way across the Atlantic to America and re-impose the difficult early days of American homeschooling? What is HSLDA doing to support positive change for our brother and sister homeschoolers in Germany, and what can you do to help? Come hear HSLDA staff attorney for Germany and homeschooling father Michael Donnelly answer these important questions.

1-3 ■ どうして両親は子どもが抱える見えない障害を理解するのが難しいのか？

Why do parents have difficulties to understand their children's invisible disabilities?

ジョイス イノウエ

この分科会では、個人の持つ障害を正確に認識し、神から与えられた子どもの長所を見つけ出す方法を提示します。そして、子どもたちの長所を励まし、それを際立たせつつ、どのように子どもたちの弱点を修正するかを教えます。誤診され、誤解されることによる深刻な影響、不正確な検査の危険性、正しく行われなければ、正式な検査がなぜ不正確になり得るかについてお話しします。

This workshop will show you how to recognize invisible disabilities accurately, determine your child's God given strengths, and teach you how to remediate their weaknesses while encouraging and emphasizing their strengths. We will talk about the serious effects of being misdiagnosed and misunderstood, and the dangers of inaccurate testing and why formal testing can be inaccurate if not done correctly.

1-4 ■ 「シングルでもできました。ホームスクーリング！ほんとうに値打ちがありました！」

鈴木 啓子

主人が召された後、その現実の中で私は無我夢中でした。頑張って頑張っていました。しかし喪失感とともに現実的な不足にぶつかる度、私は恐れでいっぱいでした。解決策（逃れる道）と援助物資（物と人と知恵）を求めて主に叫ぶ毎日でした。しかし憐れみ深い主は、私を苦しみの中で主ご自身を求めようと導きなさいました。主は私を命のパンで養い、心を満たし、私の自己中心を取り扱い、困難のはるか上を飛ぶようになさったのです。今晚はそんなお証をお分かちし、さらに主

にひざまづいて祈る時を持ちたいと思います。

1-5 ■ 「経済実験（慶應義塾大学）」（予約制）

赤林 英夫・大垣 昌夫

1-6 ■ 「那須家のホームスクーリング 13 年目

－道のり様々、個性様々」

那須 清志&百合美

2004年4月より始まったホームスクーリングも13年目になりました。長男（24歳）は大学4回で来春より社会人、長女（22歳）は看護師2年目、次女（20歳）は2年間の留学を終え通信制の大学に編入し3回生、次男（18歳）は大学進学を目指し予備校生、三女（16歳）も置かれたフィールドで主に仕えようとしています。HS終盤と言っても、家族としてなすべきことはまだまだあります。13年間、ホームという同じ環境で学びつつも、教会や社会との関わりも増え、主から与えられた個性が益々顕著になってきました。今回は、久しぶりに参加する長男からもこれまでの歩みや主から教えられたことをレポートしてもらいます。

1-7 ■ 「ホームスクール 10 年目」

堀井 卓&ユリ

私たち家族がホームスクールを始めるきっかけになったのが、2006年の白馬セミナーです。当時、長男5年生、次男3年生、長女年長でしたが、ホームスクールに対してほとんど知識がなく、「なんか学校に行けなくてかわいそうだね。」と話していたこともありましたが、しかし、セミナーに参加して私たち家族の考えが全く変わりました。「自分の子どもを他人任せにしない」、「神様を愛する子に育てる」、「家族で共に成長する」それから、10年経ち長男は医療宣教の道を祈りつつ医学部に、次男は福音を伝える道を祈りつつ受験勉強中、長女は幼児に関わる仕事を模索中、三男はサッカー選手を目指して練習、そして四男は忍者になることを夢見ています（笑）。

今年、私たち家族に大きなチャレンジがありました。それは、近所の子もたちに福音を伝えるためにサンデースクールを始めること。「一人でも二人でも近所の子もが来てくれたらいいね。」と手探りで始めたサンデースクールでしたが、多い時は大人も含め30名以上の方が聖書の話聞きに集まって下さっています。汀がチラシを作り、勇士が賛美リード、大使と陽は近所の家を回って友だちを誘い、また、HSの友人家族や、教会のメンバーにも助けられながら続けることができます。ホームスクールのゴール、「子どもの魂の救い」、「キリストの弟子の心を育てる」、そして「世

界宣教」に向かって、毎日の堀井家の様子をお話しさせていただきます。

1-8 ■「聖書の世界観 vs ヒューマニズムの世界観」 宇佐神 実

多くの人は進化論は科学だと考えていますが、これはヒューマニズムという宗教の基本概念で、聖書の世界観を骨抜きにするための道具として用いられています。ヒューマニズムの世界観を知り、聖書の世界観を正しく理解することがいかに重要かを考えます。

【分科会 2】

2-1 ■「ホームスクーリングは、女性だけのもの？」 Is Homeschooling Just for Women? イスラエル・ウェイン

多くの男性にとって、ホームスクーリングとは、主に妻たちがするものとして見られてきました。男性（夫）たちの多くは、請求書の支払いさえしていれば、それで神が彼らに期待しておられることのすべてをしていると信じているのです。聖書的に言うなら、ホームスクーリングにおける男性（夫）たちの正しい役割とは何でしょうか？どのように実践していくのでしょうか。

For many men, homeschooling has been looked at largely as something their wife does. Many believe that if they pay the bills, that is really all that God expects of them. Biblically speaking, what is the proper role for men in the process of home education?

2-2 ■「お父さん、ホームスクーリング家族の リーダーはあなたです」 For You, Dad —Leading Your Homeschool Family マイク・ドネリー

ほとんどのホームスクーリングの家庭において、お母さんが一番重荷を負っています。生活の糧を稼ぐために一日中外で働いているお父さんが、どのようにして負担を分け合うことができるでしょうか？お父さんたちは、今よりたくさんの良い仕事を効率的にするように求められています。神が私たちに与えられた召命として、どのように家族に影響を与えることができるのでしょうか？ HSLDA の弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏の話聞いてください。ホームスクーリングにおける神の国の優先順位と、

皆さんの限られた時間と資源に対して増え続ける要求のバランスを保つ実践的アイデアをお話しします。

In most homeschooling families, Mom carries the biggest burden. How can Dad pull a share of the load when he is gone all day earning a living? There are so many other good works dads are asked to do—how can we influence our families as God calls us to do? Come listen to HSLDA attorney and homeschooling father Michael Donnelly, as he discusses Kingdom priorities in homeschooling and practical ideas to balance the increasing demands on your time and resources.

2-3 ■子どもとの共依存か、 または子どもと共に神に依存するのか Co-dependency or God Dependency with Our Children ジョイス イノウエ

共依存とは、あらゆる世代を通して身に付けられている習性です。私たちの心が何かに夢中になっているときに、他者や自分自身に対する責任を忘れてしまい、個人の境界線を引くことも、それを保つこともできなくなります。私たちはクリスチャンの親として、子どもたちの身体的、精神的、感情的、霊的なことに関わっています。また、クリスチャンのホームスクーラーとして、子どもたちの教育面、学問的な進歩にも関与しています。ですから、子どもたちのことで簡単に心が奪われてしまいがちです。しかし、私たちは、このことを健全なレベルに保ちたいと願っています。私たちは、子どもたち、とりわけ、特別なニーズのある子どもたちと共依存関係に陥ることのないように注意しなければなりません。この分科会では、あなたの共依存関係の態度、それがもたらす不健全な影響に気付かせ、共依存を神依存に変えていく方法を学びます。

Co-Dependency is a behavior that is learned throughout the generations. It is when we are so preoccupied we forget our responsibility to others, ourselves and are unable to set and maintain personal boundaries. As Christian parents, we are involved with our children physically, mentally, emotionally and Spiritually. As Christian homeschoolers we also are involved with their education, and their academic

gains. It is very easy to become preoccupied with our children; yet, we want to keep this at a healthy level. We must be careful that we do not become co-dependent on our children, especially the ones with special needs. This workshop will help you to recognize co-dependent behavior, its unhealthy effects, and how to transform such into God Dependency.

2-4 ■ 「チャーチ&ホームスクーリング -必ず聞かれる20の質問」 稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるチャーチ&ホームスクーリングって？」。この16年の全国各地でのセミナーで多かったQ & Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

2-5 ■ 「経済実験（慶應義塾大学）」（予約制） 赤林 英夫・大垣 昌夫

2-6 ■ 「ホームスクーリングと聖書と 日本文化について考える」 吉村 忠敏&則子

1. 子供に神様を中心にすることを教える。聖書を読むこと、教会に行くこと、洗礼を受けること。それは手段であって、目的ではありません。子どもが自ら神様を中心とした生活をするように教育することが大切だと思います。2. 子供に日本文化の優秀性を身に付けさせる。それは世界でも注目されています。日本の文化、伝統を聖書の価値観から積極的に評価し、子どもに身に付けさせることは、神様に喜ばれることだと思います。3. キリスト教を伝えるのではなく、神様を中心とした生活を伝える。イエス様はそれを「神の国の福音」と呼んでいます。大切なことは宗教ではなく、神様を中心とした生活だと思っています。

2-7 ■ 「英語カリキュラム GrapeSEED の 効果的な学習」前半 グレープシティ（藤原 政信）

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネントから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々に、より効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなくこれから取り組みたいと思われる方々もご参加ください。

【チャ事務局より】初めての方も参加 OK ! GS は、普通は一般の学校等が対象ですが、チャ・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をします（入門コース CD 2 枚組（1000 円+送料）を購入いただくと、GS スタート OK です。チャ事務局にお申し込みください）。

2-8 ■ 「地域教会とホームスクール」 清野 基&百合子

HS を実践する親として、HS の家族が多く集まる教会の牧師として、過去 10 年で学んだことを分かち合います。主なトピックは以下のとおりです。

1. HS をする上で、地域教会がいかに大切か
～地域教会なしに、HS なんてできない！～
2. 兄弟姉妹に HS について理解してもらうためには
3. HS 派と学校派が共に主に仕えるためには
4. HS の家族が複数集まる場合の強みと罣
5. HS の子どもたちを不健全な選民意識から守るためには
6. 教会の中で強い反対にあった場合の対処法

【分科会 3】

3-1 ■ 「カッとなる： 怒りとイライラに満ちた子育てに打ち勝つ」 Pitchin' a Fit: Overcoming Angry and Stress-Out Parenting イスラエル・ウェイン

誰でもある程度は怒りの問題を抱えています。しかし、怒りが、自分の子どもたちと一緒にいるときによく起こるなら、徐々に、親子関係にダメージを与え、あなたの効果を妨げることとなります。あなたは、イライラ状態でいることはもう嫌だ、家庭が平安な空気に包まれてほしいと思いませんか？この大切な分科会において、解決と実践の

方法を学んでください。

Everyone struggles with anger on some level, but when anger is a frequent occurrence with your children, over time, it will damage your relationships and hinder your effectiveness. Are you tired of being stressed-out, and ready to have a peaceful atmosphere in your home? Learn how in this important workshop.

3-2 ■ 「ホームスクーリングは 親の基本的人権・教育の自由」 Homeschooling is a Human Right マイク・ドネリー

ホームスクーリングは合憲合法であり、世界の多くの国々で増え広がっています。しかし、わずかですが、ドイツやその他数ヶ国においては、事実上禁止している国もあります。ホームスクーリングは基本的人権でないのでしょうか？なぜ裁判官は、ホームスクーリングを禁止することを、その国の憲法、あるいは、国際人権法に反するにも関わらず容認の判決を下したのでしょうか？なぜドイツはホームスクーリングを禁止するのでしょうか？この見解の相違は、ホームスクーリングの権利について、また、これらの裁判所の判決について何を意味しているのでしょうか？基本的人権は個の自由を保証するものです。思想・信条の一致という目的のために国が教育を支配することを正当化したり、あるいは認可したりする制度は、自由な民主主義国家の理念の根幹を揺るがす個人の尊厳への国家介入であり、統制主義です。この分科会で、ホームスクーリングが、どの国においても守られなければならない、親と子どもにとっての基本的人権であることを明確に立証します。

Homeschooling is legal and growing in many countries but is virtually forbidden by law in Germany and a few others. Is home education a human right? Why do Judges find that banning home education is acceptable under their constitution or under international human rights standards? Why does Germany forbid home education? What does this divergence imply about the right of home education and the jurisprudence of these courts? The promise of human rights is individual liberty so a system that justifies or endorses state control of education for the purpose of cultural conformity is too statist for a free and democratic society. In this

presentation I will make the case that home education is a human right of parents and children that must be protected by everywhere.

3-3 ■ 両親の失敗を実りに変える四つの励まし Four Empowering Ways to Turn Parent's Failure into Fruit ジョイス イノウエ

特別なニーズのある子どもたちが私たち親をイライラさせ困らせるとき、あるいは、ホームスクーリングで学習困難に直面するとき、私たちは失敗者になったように感じます。あれで良かったのだろうか、十分に手を尽くさなかったのではないかと、子どもたちにとって自分はふさわしくないのではないかと、私たちの恐れを大きくさせます。そして、イライラし、混乱し、怒り、落ち込んでしまいます。私たちは毎日、特に、時間内に宿題をさせることもできなかったときには、子どもたちを失敗させたような気がします。この分科会に来て、どんな「失敗」も「実」に変わる、4つの単純な方法を発見してください。この分科会は人生の転機となるでしょう。

When our children with Special Needs frustrate and overwhelm us, or struggle to learn as we homeschool, we feel like we are failures. We second guess our abilities and feed our fears that we are not doing enough, or not good for our children. We become frustrated, confused, angry and depressed. We feel like we fail our children every day, especially when we can't even get them to focus on an assignment within the hour. Come to this workshop to discover five simple ways to transform any "failures" into "Fruit". This workshop will be life transforming.

3-4 ■ 「国際性のための日本語教育」 Japanese Language Education for Global Mindedness ピーター・ブロックソム

昨今、日本国内においても英語力が求められるようになり、特に学校教育の現場において英語教育の重要度が高まりつつあります。しかし、私たちは今一度、日本人のための日本語教育について考える必要があるのではないのでしょうか。グローバル人材育成の必要が声高に叫ばれる中、私たちは日本語能力が本人の国際性に与える影響の大きさを再認識する必要があるでしょう。母国の文化

や言語を犠牲にするのではなく、それらに拠って立つグローバリズムの形を皆さんと考えたいと思います。

In recent years, English language education is gaining more importance, especially in a school setting, due to the increasing needs for English proficiency in Japanese society. Yet, now is the time for us to re-emphasize Japanese language education for Japanese. Despite the strong arguments for global human resource development, we should never underestimate Japanese proficiency's contribution to Japanese's international mindedness. I look forward to discussing with you the nature of globalism that stands on people's mother language and culture instead of sacrificing them.

3-5 ■ 「経済実験（慶應義塾大学）」（予約制）

赤林 英夫・大垣 昌夫

3-6 ■ 「ホームスクールの変化について」

竿代 健

長男が3歳の時に主夫となり、ホームスクールに取り組み始め9年目になりました。9年間を振り返ってみると、変わったこともありますし、あまり変わらないこともあります。ホームスクールが、子どもの成長と共にどう変化するのか、興味を持ちましたので、普段交わりのあるホームスクーラー数家族と話をする機会を持ちました。「親や周囲の理解」「自由時間の使い方」「習い事や体育、芸術への対応」「勉強の持ち方」「礼拝の持ち方」などの項目について、我が家の変化を中心に、あわせて、他のホームスクーラーの変化についても紹介したいと思います。

3-7 ■ 「効果的に、恐れずに、親子で勉強に取り組める！半年が過ぎたホームスクーラーの勉強ワクワク大作戦！（総合篇）」

稲葉寛夫・堀井卓・伊澤聡一郎&恵美

チア・サポートスクール（CSS）で今春から始まった「ワクワク大作戦！」で半年が過ぎました。2度のワクワク合宿も祝福され、CSS生はもちろん、全国のホームスクーラーの皆さんにも、成果や効果が見え始めています。

具体的に以下のポイントに基づく、ホームスクーリングライフの新しいサポートと、実社会で伝道のインパクトを与えるための実力アップに取り

組んでいます。受験や勉強を恐れるに足らず、主を見上げて、しかも効果的に鍛錬していこう、ということです。

①天国・未来からの挑戦！今年・今月・今週・今日、何をすべきか、ロードマップ作り

②今の実力を知るテスト/合宿でも大好評！始まる前の暗算テスト

③基礎力重視の学習法のヒント提供と勉強サポート（小学生は聖書・漢字/読書・四則計算・英語（GrapeSEED等）で徹底的に基礎固め！中高生は聖書・伝道・英語（多読）・数学（体系数学）等、取り組み例の紹介）

見えてきたのは、「親のサポート・伴走がティーンの学力・信仰を伸ばす」というポイント。「微分・積分」を一緒に勉強しなくてもOK！親が寄り添って励ますことが、大きな力になるというホームスクーリングの真髄を別角度から確認できました。そして、「ホームスクーリングこそ、最高・最新の学習法」であったことの再発見！さらに「英語多読」から、「日本語多読」への発展や、「全国・海外の通信制（ファミランコース）の効果アップ」、「集中力をアップさせる方法」ほか、多方面で着実に、新しい成長が見られています。とはいえ、まだまだ道半ば。

チアの3つの強い目的、「魂の救い」「キリストの弟子のこころを与える」「伝道・世界宣教」を心に刻みつつ、挑戦の日々が続いています。240日間の検証結果を分かち合いますので、皆さんへの神様の導き、ニーズや状況に合わせて自由にカスタマイズくださり、チャーチ&ホームスクーリング・将来の伝道への準備展開の強化策として用いてくださればと思います。

3-8 ■ 「白紙で始めたホームスクーリング

－その5年後－

佐野 章人&喜枝子

私達は将来のことが何も分からない白紙の状態、ホームスクーリングに飛び込みました。焦り、恐れが襲ってきても、その中で神様は、勉強、進路、交わりなど、一つ一つを備えてくださいました。佐野家（長女（高2）、次女（小4）、長男（年長））のホームスクーリングそれぞれの面を、具体的にお話しします。長女のまひろ（17）にも、ホームスクーリングを通してどのように変わったかを、証ししてもらいます。

【分科会4】

4-1 ■ 「クリスチャンの親がよくする、

よくある失敗」

Common Mistakes Christian Parents Make イスラエル・ウェイン

多くの善意ある親たちでも、自分の子どもたちと関わる時、悪影響を与えるような失敗をしてしまいます。そしてこれらの失敗は、多くの場合、子どもたちに苦々しい思いをもたらす一因となります。そのうちに、子どもたちのその苦々しい思いが、自分たちの親と親の価値観への拒絶につながる可能性があります。これらの落とし穴を避ける方法を学んでください。

Many well-intentioned parents make harmful mistakes as they relate to their children. These mistakes often contribute to bitterness in their children. Over time, they can result in children rejecting their parent and their values. Learn to avoid these pitfalls.

4-2 ■ 「少しずつ前進 – 21世紀の実習 (就職と召命への備えというプロセス)」 Forging Ahead—Apprenticeships in the 21st Century マイク・ドネリー

大学ですか？ホームスクーラーたちは、強制的に大学に行かされるティーンに比べれば、より目的意識が高く、大学等進学への心の備えを整えやすいとも言えますが、だからと言って、自動的に「大学行きベルトコンベヤー」に吸い込まれるべきではありません。もし大学に行かない選択をするなら、明瞭で、よく教育された社会性のあるホームスクーラーたちはどうしたらいいのでしょうか？あるいは、ホームスクーラーたちが就職と召命への備えをする過程において、彼らを助け導くための援助や見習い訓練はどこで見つけたらいいのでしょうか？HSLDAの弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏の話の中で、実践的なヒントや洞察に満ちたアドバイスを受け取ってください。

College? Homeschoolers may be better prepared for it than many other college-bound teens, but that doesn't mean they should automatically get sucked into the "college conveyor belt." But if not college, what do we do with our bright, well-educated, well-socialized homeschooled students? And where do we find resources and apprenticeships to help guide homeschoolers through this process of vocational preparation and calling? Get

practical tips and insightful advice in this talk by HSLDA attorney and homeschooling father Michael Donnelly.

4-3 ■ 私たちの舌の力 The Power of Our Tongues ジョイス イノウエ

聖書は舌の「力」について語っています。私たちが言うことが「生」か「死」をもたらすことができます（箴言 18:21）。ホームスクーリングをする親として、私たちは常に子供たちに向かって話し、教え、導き、案内し、忠告しています。私たちの希望と願いは、子どもたちが学んで祝福されることです。私たちは子どもたちを力付けたいと思っています。しかし時には、私たちが願っていないやり方で語ってしまうことがあります。それは、忍耐力がいつもより欠けている日、打ちのめされている日によくあります。私たちの言葉が神の国を建て上げる言葉に変えられるために、この分科会に来てください。学習障害、ADHD、自閉症、特別なニーズを持つ子どもたちのために、あるいは、特別なニーズのない子供たちのためにも必要なことです。なぜなら、私たちの語ることは、耳よりももっと深くに侵入するからです。それは、子どもたちの心に鳴り響くのです。

The Bible speaks on the "power" of the tongue. What we say can either bring "Life" or "death" (Proverbs 18:21) As parents who homeschool, we are constantly talking, teaching, leading, guiding and exhorting our children. Our hope and desire is for them to learn and be blessed. We want to empower our children. But sometimes, we speak in ways that we don't wish to. Often, it is on those days when we are a little less patient, and very overwhelmed. Come to this workshop to transform our words into Kingdom building words for our children with Learning Disabilities, ADHD, Autism and Special Needs or without any special needs because what we say, penetrates far deeper than the ear. It resounds in our children's hearts.

4-4 ■ 「ホームスクールの目的」 田村 正幸

まず、クリスチャンとは主に従う者たちです。サタンの働きとは、主の言葉を一つ一つひっくり返し、主に従わせないようにする働きです。主が

はっきりと命令されたことは何でしょう。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を述べ伝えなさい。」(マルコ 16:15) ホームスクールの目的もこのためにあります。目的を見失わずに、神様の言葉に従いましょう。そして、私たちが日々生きていく中で必要な教えは、すべて聖書の中に書かれています。子育ての仕方、夫婦の関係、日々の判断など、どうぞ静まって聖書を読み、教えを求めてください。

4-5 ■ 「経済実験 (慶應義塾大学)」 (予約制) 赤林 英夫・大垣 昌夫

4-6 ■ 「ステップアップするホームスクーリング-思春期編」 辻 寿&奈央子

思春期の子どもたちをホームスクールで育てることの素晴らしさ、私たち夫婦が大切にしていること、これまでにはなかったチャレンジについて分かち合います。小学生の時にしてきた土台作りの中で、これはやっておいてよかった、これはやらなくてもよかった (!?) と思えた経験談 & 失敗談も交えて夫婦でお話しします。

4-7 ■ 「チャーチ&ホームスクール12年目」 山川 哲平&真紀子

山川家は、現在9人の子どもたちとホームスクール中。週3日でチャーチスクールを4家族程で行っています。具体的な出来事や、証し、子どもたちの成長についてシェアします。教会とホームスクール。祈りの家等。

4-8 ■ 「わが家流 GrapeSEED 活用法 Part2」 伊澤 聡一郎&恵美

HS 開始と同時に GrapeSEED を始めたわが家。張り切って始めたものの、目に見える結果がなかなか見えず、挫折しかけたことも数知れず。しかし、約5年の時を経た今、文法や話し方は教えなかったのに、子どもたちは親が驚くほど英語を話すようになり、今では、GrapeSEED は、普通の日本人家庭で子どもに英語を習得させるのに、最善最強のカリキュラムであると確信しています。今回は、スカイプ英会話の活用、英語多読、英単語の増やし方等、GrapeSEED に加えて、わが家で実践してきた具体的な取り組みを中心にご紹介します。

【分科会5】

5-1 ■ 「励ましの力 (子どもたちを動機づけるために)」 The Power of Affirmation イスラエル・ウェイン

子どもたちにやる気を起こさせ、動機づけをしようと試みるとき、多くの場合、二つの力が働きます。肯定的な強化と否定的な強化です。このセッションでは、やる気のない子どもを励まして動機づける方法として、肯定することの重要性について説明します。実践的、かつ聖書的な例話を引用しつつ、このセッションは、大切な家族のきずなを育みながら知識を授けていく、その大きな助けとなると思います。これらの大切な相関的つながりを保つ助けとなるでしょう。

When you are trying to inspire and motivate children, there are two forces that are often exerted: Positive and Negative Reinforcement. In this session, Israel explains the importance of Affirmation as a way to inspire and motivate your reluctant child. Drawing from practical and Biblical examples, this session will help you to keep those important relational connections as you are attempting to impart knowledge.

5-2 ■ 「創始者たちの信仰-自由か、 さもなければ死を！王ならば、キリストを！」 Faith of Our Founders マイク・ドネリー

1775年、パトリック・ヘンリーは、「自由を与えよ。然らずんば死を！」と語りました。周知の通り、アメリカ合衆国建国者たちのほとんどは、自由とは、クリスチャンの自由を意味するということを理解したクリスチャンたちでした。しかし、私たちの土台のどの程度が、建国者たちの信仰だったのでしょうか？ ジョン・ハンコックとジョン・アダムズの戦いにおける叫びは、「王ならば、キリストを！」でした。一方、世俗の歴史家たちは、建国者たちの信仰の影響を最小限に抑えようとしたのですが、実際は93%の建国者たちがキリストの信仰者たちでした。もし、私たちが、こうした遺産を回復しなければ、私たちの歴史認識は危機的なものになります。日本のホームスクーラーの皆さんにとっても、そのルーツにも、将来にも関わる大事な情報のセッションになると思います。マイク・ドネリー氏はHSLDAの弁護士であり、パトリック・ヘンリー大学の非常勤教授として憲法学を教えています。彼が我々ホームスクーラーの創始者の信仰の真実と意図を明るみに出すのを

お聞きください。

In 1775 Patrick Henry said “give me liberty or give me death.” You know that the founders of our country were mostly Christian men who understood that liberty meant Christian liberty. But how much a part of our founding was the faith of our founders? John Hancock and John Adams’ battle cry was one of “No King but King Jesus.” While secular historians want to minimize the impact of the founders’ faith, the truth is that 93% of the founders were members of Christian churches. A knowledge of our history is critical if we are to ever recover our nation’s heritage. Michael Donnelly is an HSLDA Attorney and an Adjunct Professor at Patrick Henry College where he teaches constitutional law. Listen as he unearths the truth and import of the Faith of Our Founders.

5-3 ■ 子どもたちの中にある神の宝を探し出す Seeking God’s Treasures in Your Children ジョイス イノウエ

子どもたちが弱いとき、それが学業面であっても、身体的、あるいは精神的な面であっても、私たちはすぐに、子どもたちは強くないと考えてしまいます。私たちは弱点とは長所の反対であることを知っています。特に子どもたちに学習困難(失読症、計算力障害、学習障害)、あるいは、神経学的問題(ADHD、自閉症)や行動問題(衝動性、反抗的な態度、落ち込み、低いセルフイメージ)があるときには、子どもたちの弱さを心配します。私たちの祈りは、この弱さの向きを変えることです。そうすれば、子どもたちがゴールに到達し、自分に自信を持ってセルフイメージを築くことができるようになるでしょう。この分科会で、あなたの思いが真実なものに変えられますように。自分の健康問題という弱さの旅を通して神に与えられた多くの真理を分かち合います。そして、弱いことは強いことの反対ではないことを、どのように神が示してくださったかを証します。

When our children are weak, whether it is academically, physically or mentally, we immediately think they are not strong. We know weakness as the opposite of strength. We especially are concerned in our children’s weakness when they have learning challenges (Dyslexia, Dyscalculia, Learning Disabilities) or neurological problems (ADHD, Autism) and

behavioral issues (Impulsivity, Defiance, Depression, low self images). Our prayers are to turn this weakness around, so they can reach their goals and build their self-image by feeling good about themselves. Come to this workshop to transform your minds into what is TRUE. Joyce will be sharing how God has given her many Truths in her our journey of weakness due to her health issues. She will testify how God has shown her being weak is not the opposite of being strong.

5-4 ■ 『将来のビジョンとホームスクーリングに於けるキリストの弟子づくり』～主の熱心がこれを成し遂げる～

森山 剛&有佳子

この3年取り組んできた、「フェイスタイム(父と子のマンツーマンの時間)」によって、子どもたちの将来のビジョンが見えてきつつあります。フェイスタイムで使っている「弟子づくりプランシート」を紹介します。このシートにより、賜物・特技・関心・苦手・強さ・弱さなど、将来のビジョンに対して、キリストの弟子としての成長課題と取り組みが見えてきます。更に、ホームスクーリングの目的を常に明確にしつつ、「父と子」「夫と妻」の絆を深めることにも役立っています。娘・佳音の証しと、日々子どもたちの生活や勉強への取り組みに際して、特に気を付けていることを、母の視点でもお分かちさせていただきます。参加者には実際にこのシートを体験していただきます。

5-5 ■ 「経済実験(慶應義塾大学)」(予約制) 赤林 英夫・大垣 昌夫

5-6 ■ 「創造され召された目的」 宇佐神 実

人は完全なことをなせる創造主に造られた存在であるという事実に基づいて、私たち大人や次世代を担う子どもたちが、それぞれの選ばれ召された目的を知り、それを行って生きることの大切さを考えます。

5-7 ■ 「親子で勉強に取り組める！ホームスクーラーのワクワク大作戦！(実践編)」 伊澤 聡一郎&恵美

コーチングスタッフとしてCSSチームに加わって6ヶ月。CSSの子どもたちの目の輝きに接すると、彼らが神様の子どもであると強く思われます。彼らが、将来どの道に進んでも、主の証人と

して力強く歩いていけるように、訓練のお手伝いに全力を尽くしてきました。CSSの歩みは、まだ道半ばですが、それでも、世の中の教育産業の中では、日本 No.1 のコンテンツを提供できるレベルにまで成長してきたと確信しています。CSSが、学校教育や受験対策の後追いではなく、それらを凌駕した真の学力の習得に取り組む場となり、HSの皆さまに対し、親子での学問への取り組みに関する "How" を提供し続ける存在でありたいと願っています。現在のCSSの勉強面での取り組みについて、言語力(国語・英語)、数学を中心に、ご紹介します。

5-8 ■ 『平岡家のドタバタホームスクールとネパールの話』 平岡 真美&恵美香

ホームスクール2年目(長男8歳、長女6歳、二男3歳、次女1歳)。1年目は次女が口蓋裂で産まれ、搾乳等に追われているのを見かねて夫が初の育児休暇をとることに。今年1月からは妻(5人目妊娠中)一人で日常に追われながらホームスクール奮闘中。理想と現実とのギャップに打ちのめされたりしています。まだ形になっていないホームスクールですが、ありのままをお話しできればと思います。また、家族のビジョンである海外宣教を祈り続けてネパールでのソーラープロジェクト

クトに携わり、その振り返りのお話も少しできればと思います。

5-9 ■ 「英語カリキュラム GrapeSEED の効果的な学習」後半 グレースィティ(藤原 政信)

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気付き、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネントから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々に、より効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなくこれから取り組みたいと思われている方々もご参加ください。

【チア事務局より】初めての方も参加 OK ! GS は、普通は一般の学校等が対象ですが、チア・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をしています(入門コース CD 2枚組(1000円+送料)を購入いただくと、GS スタート OK です。チア事務局にお申し込みください)。